

Foundation for Fusion of Science & Technology

第 2 4 期 事 業 報 告 書

自 平成 2 9 年 4 月 1 日

至 平成 3 0 年 3 月 3 1 日

公益財団法人 科学技術融合振興財団

目 次

設立趣旨	2
ご挨拶	3
I. 事業概況	4
1. 調査研究への助成	4
2. 平成29年度研究助成の選考結果について	5
3. FOST 賞の贈呈	10
II. 財団の概況	11
1. 主要な事業内容	11
2. 事業所	11
3. 平成29年度 理事会・評議員会	11
4. 平成29年度 審査委員会	12
III. 事業報告附属明細書	13

設 立 趣 旨

当財団は、次のような趣旨により1994年4月に設立いたしました。

わが国は多くの科学技術分野で目覚ましい発展をとげてまいりました。そして科学技術には、より豊かな人間社会と人間文化の実現に、より一層係わりを深め、その役割を果たしていくことが強く求められております。このような認識のもとに当財団は設立され、特にシミュレーション&ゲーミングの研究など科学技術の融合を促すような課題の研究を標榜し、わが国では極めてユニークな存在として事業活動を展開しております。当財団は、2012年4月に公益財団法人へ移行いたしました。今後、より広範な分野にわたる内外の学識経験者や専門家を結ぶネットワークを形成し、シミュレーション&ゲーミングの研究をはじめとする科学技術の調査研究への助成及び国際交流への助成などの事業を推進し、より豊かな人間社会と人間文化の実現に貢献したいと考える次第でございます。

ご 挨拶

理事長 襟川 陽一

皆様には、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り心より厚く御礼申し上げます。このほど第24期（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）の事業報告書をお届けするにあたり、当期間における事業概況をご報告申し上げます。

本年度の主たる事業であります調査研究への助成につきましては、当財団設立当初から実施している研究助成事業に加えて、若手研究者の独創的な研究を対象として平成13年度に設置した補助金事業を含め、多数の興味深い研究テーマが応募されました。審査委員会では活発な議論が行なわれ、公正な審査を経て助成および補助の決定をさせて頂きました。

当財団では「科学技術の融合に関する功労者等の表彰」も事業活動の一環としておりますが、平成19年度より研究助成金・補助金を受けた研究者の成果報告書の中から最も優れた研究を選考し、その研究者に対してFOST賞を贈呈しております。平成20年度には若手研究者を対象に賞が新設され、平成25年度からFOST新人賞としました。さらに平成23年度にはゲームの研究・開発・応用に関連して顕著な業績を上げた人を表彰する賞として「FOST社会貢献賞」を加えて、研究者の励みになるような表彰活動を実施しております。

今後とも先進性かつ創造性あふれるシミュレーション&ゲーミングなどの調査研究を助成させて戴くと共に、その普及啓発と国際交流にも努め、社会の発展に貢献してまいりたいと考えております。

今後の財団活動に格別の理解と協力を賜りますようお願い申し上げます。

I・事業概況

平成29年度の事業概況：第24期（平成29年4月1日～平成30年3月31日）の事業概要は次の通りです。

1. 調査研究への助成

本年度も従来どおり、調査研究助成事業および補助金事業を設置して募集を行いました。助成予定金額は、昨年度と同じく調査研究助成金13百万円、補助金3百万円、総額16百万円といたしました。

募集につきましては平成29年6月に、例年通り全国の大学および社会科学系を中心とした大学院へ約500件の募集要領を送付したほか、ホームページで公開募集をし、さらにゲーム関連諸団体、諸学会にもメールで案内をいたしました。平成29年10月16日応募締め切りのところ、応募数は調査研究として67件、補助金として19件、合計で86件の応募件数となりました。昨年の実績と比べますと、調査研究応募件数は12件増、補助金の方は4件減となりました。

平成29年12月14日に審査委員会を開催し、公正な審査を経て、調査研究助成として20件、補助金として18件を採択し、助成を行いました。

I. 研究助成事業

研究課題

A. シミュレーション&ゲーミングに関する調査研究

- ・国際関係、国民経済・社会、地域計画、都市計画、まちづくりなど
社会システム領域におけるシミュレーション&ゲーミング研究
- ・ビジネスゲーム等の「経済・経営」に関するシミュレーション&ゲーミング研究
- ・集団意思決定、問題の解決、政策評価などを支援するシミュレーション&ゲーミング研究
- ・協働・協調作業、組織学習などを支援するシミュレーション&ゲーミング研究
- ・異文化理解、自己実現、課題発見のためのシミュレーション&ゲーミング研究
- ・その他シミュレーション&ゲーミングに関する調査研究

B. 情報技術、ネットワーク技術を応用した

- ・シミュレーション&ゲーミングによる学習用ソフトウェアの試作
(学習用ソフトウェアを通じて行う青少年科学技術啓蒙活動)
- ・社会に役立つシリアスゲームの調査研究

AB共に第24期実績として1件15万円～150万円で、総額1,300万円を助成。

II. 補助金事業

研究課題

C. シミュレーション&ゲーミングの先進的独創的な手法の研究

若手研究者を対象に、第24期実績として1件10万円～30万円で、総額300万円を助成。

2. 平成29年度研究助成の選考結果について

本年度の調査研究助成の概況は次の通りです。

①応募状況

	研究助成事業		補助金事業	
	件数	申請金額	件数	申請金額
平成29年度	67件	74,294,800円	19件	5,420,000円
平成28年度	55件	57,315,540円	23件	6,508,300円
平成27年度	49件	48,726,760円	19件	4,773,500円

②研究課題分野別内訳

分類	平成29年度	平成28年度	平成27年度
情報科学	20	11	10
社会	18	15	7
医学・福祉	8	9	9
教育	27	19	21
生物	0	0	1
物理	0	0	0
環境	3	4	1
図形・デザイン	0	1	0
経営・経済	5	10	7
土木建築	1	2	0
化学	0	0	2
数学	0	0	0
その他	4	7	9
（心理学）	（0）	（0）	（3）
（コミュニケーション）	（0）	（1）	（3）
（防災）	（3）	（4）	（1）
（物語研究）	（0）	（0）	（1）
（スポーツ）	（1）	（1）	（0）
（出版企画）	（0）	（1）	（1）
合計	86件	78件	68件

③研究課題別応募状況

研究課題	平成29年度	平成28年度	平成27年度
(A) シミュレーション&ゲーミングに関する研究	43件	42件	33件
(B) 教育用ソフトウェアの試作	24件	13件	16件
(C) シミュレーション&ゲーミングの先進的独創的な手法の研究	19件	23件	19件
合計	86件	78件	68件

平成 29 年度調査研究助成選考結果

番号	氏名 役職	大学名 学部	調査研究課題	助成 希望金額	助成 金額	充足率 %
1	松井 啓之 教授	京都大学大学院 経営管理研究部	ゲーム普及のためのプラットフォームの 実現の検討	1,500,000	1,500,000	100%
2	北梶 陽子 助教	広島大学 ダイバーシティ 研究センター	社会的ジレンマ状況において多様性から 生じる葛藤解決の処方	1,500,000	1,350,000	90.00%
3	松田 稔樹 准教授	東京工業大学 リベラルアーツ 研究教育院	S&G を活用したカリキュラムマネジ メント手法と支援ツール ～教職課程カリキュラムの質保証への応 用～	800,000	680,000	85.00%
4	佐藤 みずほ 特任講師	慶應義塾大学大 学院システムデ ザイン・マネジ メント研究科	食品廃棄低減化を促進するための消費者 教育ゲームの開発	1,400,000	1,050,000	75.00%
5	野波 寛 教授	関西学院大学 社会学部 社会学科	NIMBY をめぐる多様なアクターの熟議と 合意：WEB 版“誰がなぜゲーム/迷惑施設 版”の開発と大規模実施	350,000	280,000	80.00%
6	松村 暢彦 教授	愛媛大学 社会共創学部 環境デザイン学科	タイムラインを取り入れた地域まちづく り学習ゲームの開発と効果検証	810,000	580,000	71.60%
7	標葉 靖子 特任講師	東京大学大学院 総合文化研究科 教養学部	科学と社会に関する多角的視点を涵養す るためのコミュニケーション型シリアス ゲームの開発実践	1,000,000	680,000	68.00%
8	豊田 祐輔 准教授	立命館大学 政策科学部 政策科学専攻	防災理論と実践を紡ぐゲーミング・シミ ュレーションの枠組みに関する研究	1,250,000	830,000	66.40%
9	高橋 真吾 教授	早稲田大学 理工学術院 創造理工学部	問題状況のグループ共有を促進するモデ ル作成ゲーム Model Building Game の開発と評価	1,500,000	920,000	61.33%
10	田中 秀幸 教授	東京大学大学院 情報学環	都市の事業集積の多面的側面を探索する ゲーミング手法に関する研究	1,500,000	870,000	58.00%

11	太田 貴大 准教授	長崎大学大学院 水産・環境科学 総合研究科	ゲーミフィケーションを活用した森林生態系サービス供給者-受益者間の相互理解促進プロセスの開発	1,500,000	770,000	51.33%
12	Shuang CHANG 助教	東京工業大学 情報理工学院 情報工学系	ゲーミングシミュレーションによる公共サービス参加促進政策の分析を支援するフレームワークの構築	600,000	300,000	50.00%
13	渋谷 明子 准教授	創価大学 文学部 人間学科	ゲームのジェンダー表象がプレイヤーのジェンダー観に及ぼす影響-若いプレイヤーへのインタビュー調査-	1,500,000	570,000	38.00%
14	野間 春生 教授	立命館大学 情報理工学部 情報理工学科	新生児蘇生講習会における“気付き”を導き出す新生児蘇生訓練シミュレータの開発	1,500,000	570,000	38.00%
15	柴田 傑 助教	室蘭工業大学 しくみ情報系領域	「立体周期表すごろく」を用いたオンライン学習システムの構築	1,500,000	570,000	38.00%
16	小林(七邊) 信重 准教授	デジタルハリウッド大学大学院 デジタルコンテンツ研究科	日本・中国・欧州のデジタルゲーム文化・市場の比較分析	1,500,000	460,000	30.67%
17	王 智弘 プロジェクト 研究員	総合地球環境学 研究所 研究部	資源問題を連関（ネクサス）の視点から理解するためのボードゲームとアクティブラーニングプログラムの開発	750,000	250,000	33.33%
18	白井 宏明 客員教授	放送大学 神奈川学習センター	すごろく型ビジネスシミュレーション開発用テンプレートの試作評価	650,000	190,000	29.23%
19	水山 元 教授	青山学院大学 理工学部 経営システム工学科	時間制約下での協働的問題解決の巧拙の分析と訓練のためのシリアスゲーム開発	1,500,000	430,000	28.67%
20	遠藤 和義 教授	工学院大学 建築学部 建築学科	ゲーミングによる公共工事入札制度改革の政策評価に関する研究	500,000	150,000	30.00%

合計 ￥ 23,110,000 13,000,000 56.25%

平成 29 年度補助金助成選考結果

番号	氏名 役職	大学名 学部	調査研究課題	助成 希望金額	助成 金額	充足 率%
1	原田 拓弥 博士課程	関西大学大学院 総合情報学研究科 総合情報学専攻	社会シミュレーションのための統計情報に基づく仮想の世帯構成合成手法の改良	200,000	200,000	100%
2	家入 祐也 修士課程	早稲田大学 創造理工学研究科 経営システム工学専攻	地域における潜在的観光資源の発掘手法の開発－ウォークラリーゲーミングによる観光行動データの活用－	300,000	300,000	100%
3	伊藤 航平 博士課程	東北大学大学院 農学研究科 環境経済学分野	住民の社会的アイデンティティに着目した農村地域ビジョン創出ゲーミングの設計およびその評価	300,000	300,000	100%
4	高橋 志行 研究員	立命館大学 衣笠総合研究機構	会話型ロールプレイングゲームによる日常的バイアスの相対化手法開発のための探索的研究:家事を主題とするゲームを用いて	230,000	184,000	80.00%
5	東 善朗 研究員	岐阜大学 工学部 社会基盤工学科	「地球探検ゲームづくり」のパッケージ化	300,000	225,000	75.00%
6	蒔苗 詩歌 博士課程	北海道大学大学院 教育学院 教育心理学講座	道具使用時の身体的シミュレーションがもたらす空間操作性の検討	300,000	210,000	70.00%
7	清水 泰有 博士課程	立命館大学大学院 政策科学研究科	ゲーミング・シミュレーションを用いた住民の公共事業に対する態度変容が仮想公聴会での意見形成に与える影響に関する研究	250,000	175,000	70.00%
8	藤崎 樹 博士課程	東京大学大学院 総合文化研究科 広域科学専攻	レビューサイトのレイティングが「健全」なものとなる条件の理論的検討	300,000	195,000	65.00%
9	黒田 起吏 修士課程	東京大学大学院 人文社会系研究科 社会文化研究専攻	リスクモニタリングゲームを支えるマイクロ過程:リスクへの態度と戦略的意思決定の関係	240,000	144,000	60.00%
10	福村 優 教諭	岩国市立杭名小学校 (広島大学大学院) (大学院 2 年)	グローバル時代の環境教育に活用可能なゲーミングシミュレーション教材の開発－『環境会議ゲーム』の開発と実践から－	300,000	165,000	55.00%

11	桂田 連 修士課程	福井大学 工学研究科 情報メディア工学 専攻	ゲーミフィケーションを用いたタスク 処理のモチベーション向上	300,000	131,000	43.67%
12	太田 啓示 ポスドク研究 員	東京農工大学 工学部 電気電子工学科	スポーツを想定した新たな対戦ゲーム 課題の確立と競い合い時の行動戦略の 定量化	300,000	131,000	43.67%
13	松木 知徳 博士課程	芝浦工業大学大学院 理工学研究科 地域環境システム専 攻	サービス業界における人事施策の影響 と従業員満足、顧客満足、実績の三者同 時実現を目指すマネジメントモデルの シミュレーション開発	300,000	120,000	40.00%
14	森澤 健作 博士課程	石川県立大学大学 院 生物資源環境学専 攻	超農家人口減少時代の省力化限界シミ ュレーションモデルの構築	300,000	110,000	36.67%
15	宮田 真宏 博士課程	玉川大学大学院 工学研究科	エピソード記憶と価値との関係に着目 した海馬モデルの提案と検証	300,000	110,000	36.67%
16	浅井 素樹 修士課程	慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マ ネジメント研究科	営業時における交渉力 (Win-Win 発 想)・情報収集力・行動力の向上を目指 すビジネスゲーム教材の研究	300,000	100,000	33.33%
17	森 朝春 修士課程	福井大学 工学研究科 情報メディア工学 専攻	リアルタイムコメント表示システムに よる講義受講者の発話活性化に関する 研究	300,000	100,000	33.33%
18	栗飯原 萌 研究生	日本大学大学院 生産工学研究科 数理情報工学専攻	学習を目的としたシリアスゲームの構 築法 (SGLM)を利用した開発及び構築 法の改善に関する研究	300,000	100,000	33.33%

合計 ¥ 5,120,000 3,000,000 58.59%

3. FOST 賞の贈呈

平成 19 年度より表彰活動の一環として、研究助成金・補助金を受けた研究者の成果報告書の中から最も優れた研究を選考し、その研究者に対して「FOST 賞」を贈呈することを開始しました。平成 20 年度に於いて若手研究者を対象に賞が新設され、平成 25 年度より「FOST 新人賞」としました。FOST 賞は研究助成での成果報告者を、FOST 新人賞は補助金での成果報告者をそれぞれ対象として表彰することにしました。

さらに、平成 24 年度にはゲームの研究・開発・応用に関連して、社会貢献という観点から顕著な業績を上げた人または団体を表彰する賞として「FOST 社会貢献賞」を加えました。審査委員会による厳正な審査の結果、FOST 賞(賞金 50 万円)は東京工業大学大学院の出口弘教授、北海道大学大学院の大沼進准教授が、FOST 新人賞(賞金 20 万円)は福井大学大学院講師の長谷川達人氏が受賞しました。FOST 社会貢献賞には、広く一般から候補者の推薦をうけ、審査委員会で協議の結果、関西大学の広瀬幸雄教授が受賞しました。

授賞式は平成 30 年 3 月 8 日に帝国ホテル(本館 鶴の間)で開催され、受賞者には賞金のほか、賞状及びトロフィーが贈呈されました。授賞式には受賞者、成果報告者、諸大学・研究団体の関係者が約 60 名出席され、インターネットのニュースなどにも取り上げられました。

Ⅱ・財団の概況

1. 主要な事業内容

(1) 助成事業

- ・科学技術の融合等に関する調査研究に対する助成
- ・科学技術の融合等に関する学会・研究会等に対する助成
- ・科学技術の融合等に関する国際交流に対する助成

(2) 普及啓発事業

- ・科学技術の融合等に関する優秀研究者の表彰
- ・科学技術の融合等に関する功労者（個人及び団体）の表彰

(3) 調査事業

(4) その他本財団の目的を達成するために必要な事業

2. 事業所

神奈川県横浜市港北区日吉本町1-4-24

3. 平成29年度 理事会・評議員会

理事会・評議員会は次の通り開催されました。

(1) 第20回理事会

平成29年6月1日（木）開催

- | | |
|----------|-----------------|
| 議案 第1号議案 | 平成28年度決算について |
| 第2号議案 | 平成28年度事業報告について |
| 第3号議案 | 第11回評議員会の招集について |

(2) 第11回評議員会

平成29年6月22日（木）開催

- | | |
|----------|----------------|
| 議案 第1号議案 | 平成28年度決算について |
| 第2号議案 | 平成28年度事業報告について |
| 第3号議案 | 議事録署名人の選定について |

(3) 第21回理事会

平成30年2月9日（金）開催

- | | |
|----------|-----------------|
| 議案 第1号議案 | 第12回評議員会の招集について |
|----------|-----------------|

(4) 第22回理事会

平成30年3月8日（木）開催

- | | |
|----------|----------------------|
| 議案 第1号議案 | 平成29年度事業実績と収支見込みについて |
| 第2号議案 | 平成30年度事業計画と収支予算について |

(5) 第12回評議員会

平成30年3月8日（木）開催

- | | |
|----------|----------------------|
| 議案 第1号議案 | 平成29年度事業実績と収支見込みについて |
| 第2号議案 | 平成30年度事業計画と収支予算について |
| 第3号議案 | 議事録署名人の選定について |

4. 平成29年度審査委員会

平成29年12月14日（木）開催

- 議案 (1) 研究助成募集および審査の経緯に関する報告
(2) 調査研究助成事業採択の審議
(3) 補助金事業採択の審議
(4) FOST 賞の審議
(5) FOST 新人賞の審議
(6) FOST 社会貢献賞の審議

平成29年度 事業報告附属明細表

該当ありません。

平成30年6月
公益財団法人科学技術融合振興財団